

沙々々

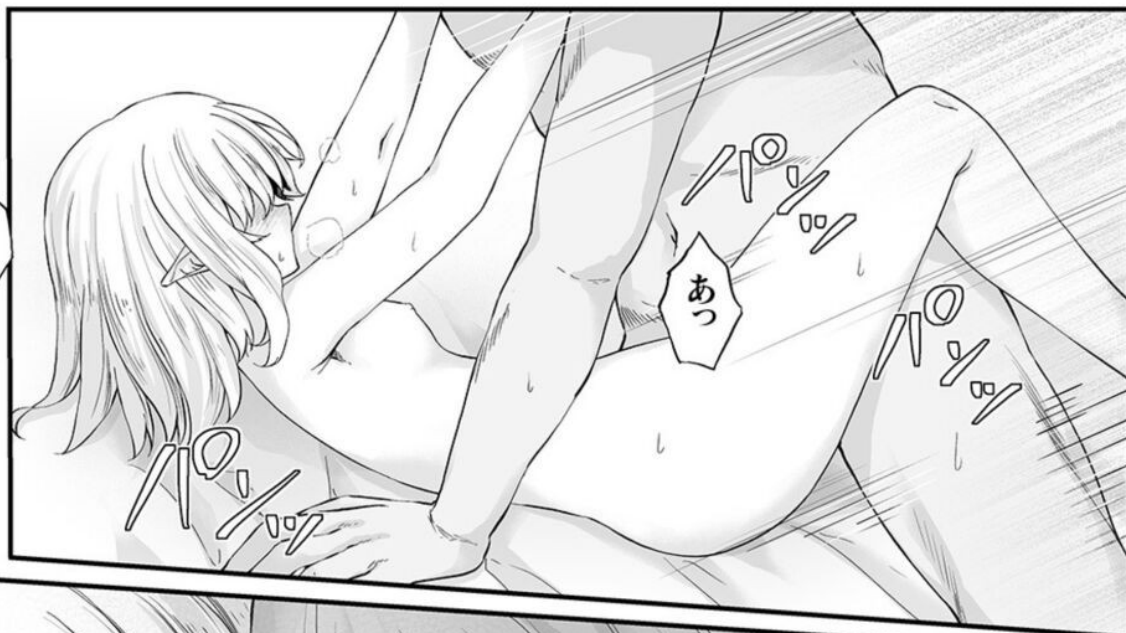
成年
コミック

あなたに出会えて
幸せでした



2

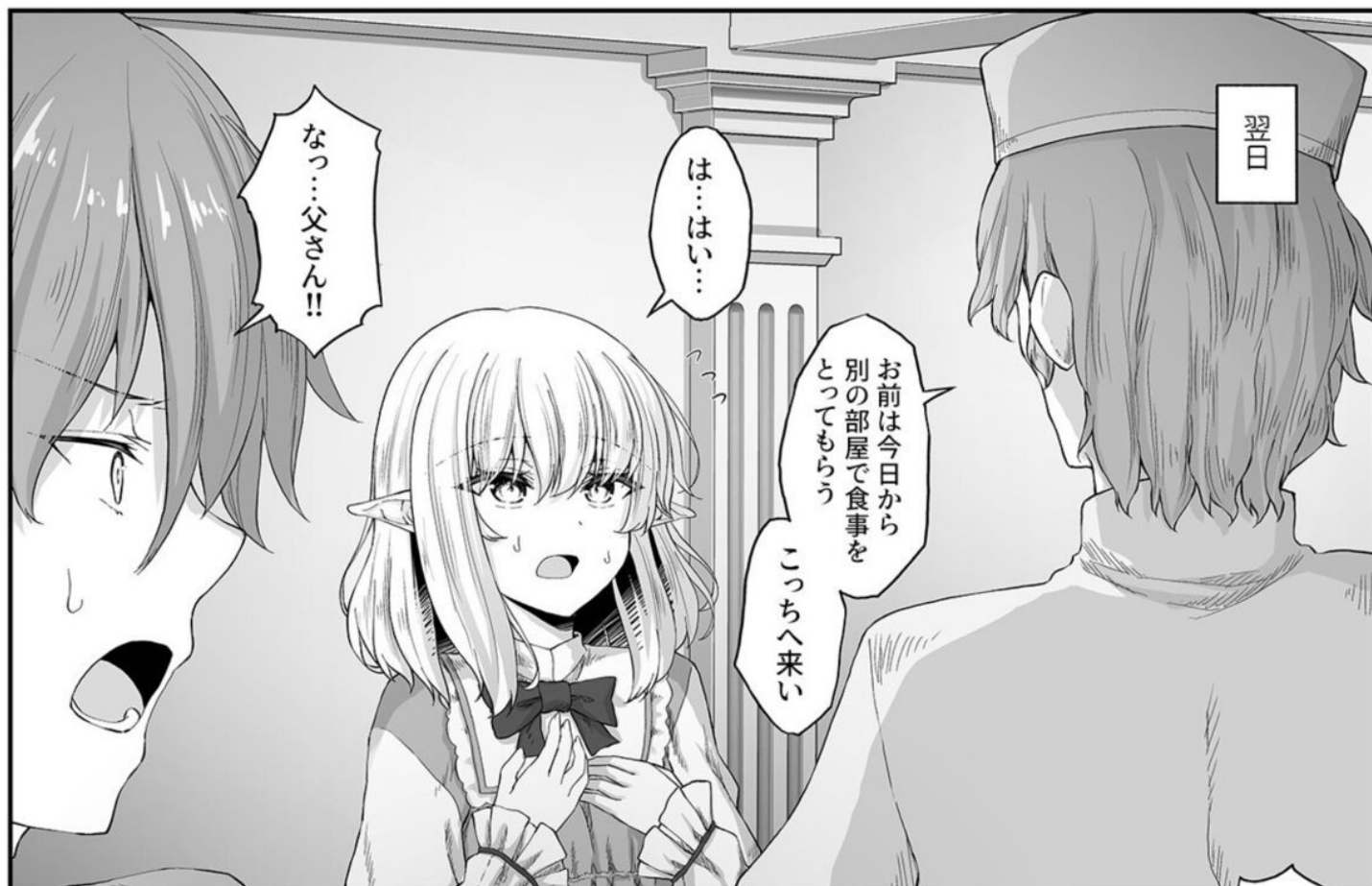
























数日後

旦那様!!
どこにもいません!!

なんだと...!?
よく探したのか!?

町にも屋敷にも
いない...

あいつら...
まさか...

ソフィ...大丈夫か?
ずっと歩き詰め
だったからな

大丈夫...です...

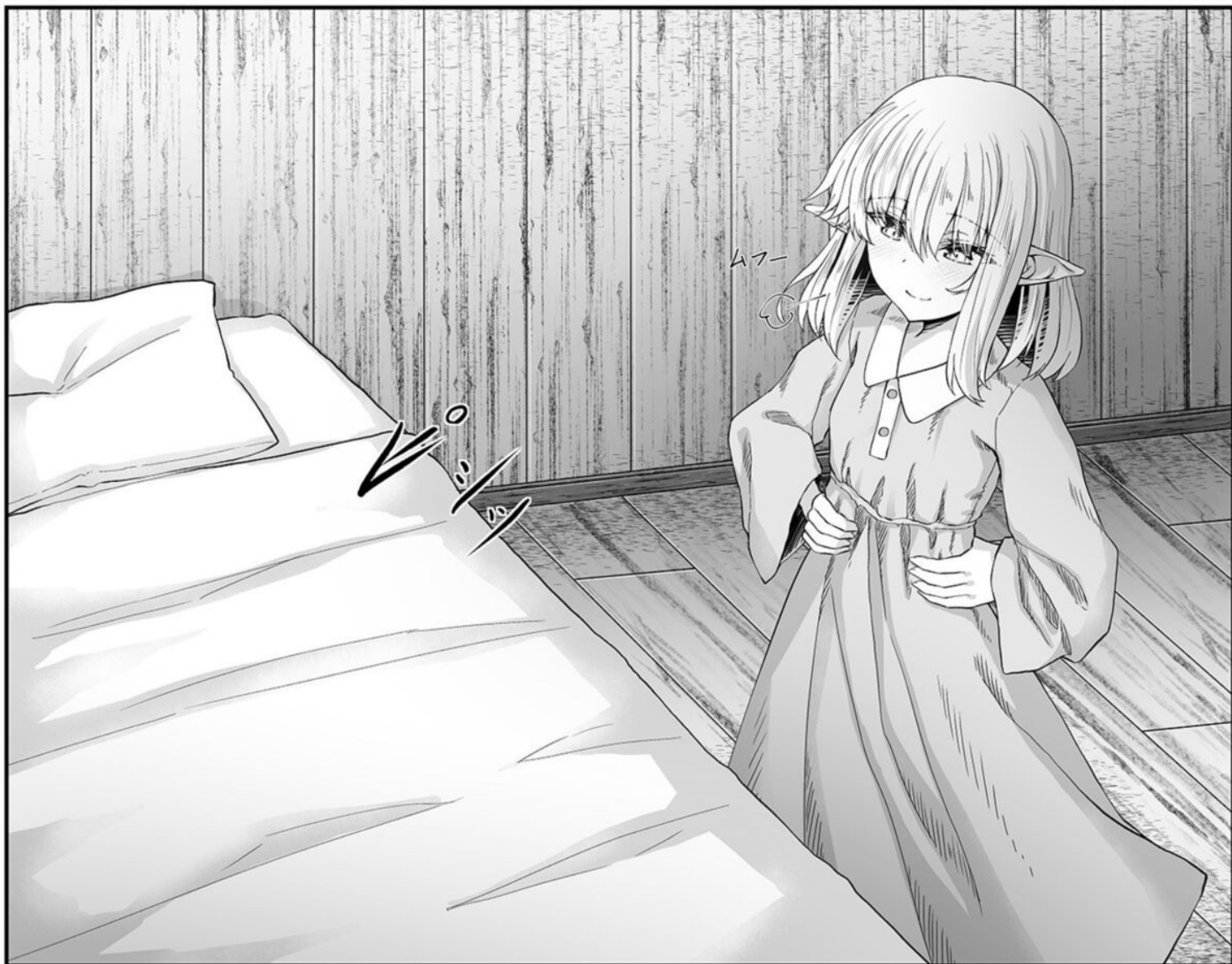
いや...無理をするな
私ももう限界だ...

だが...こんな山奥まで
くればもう大丈夫だろう...

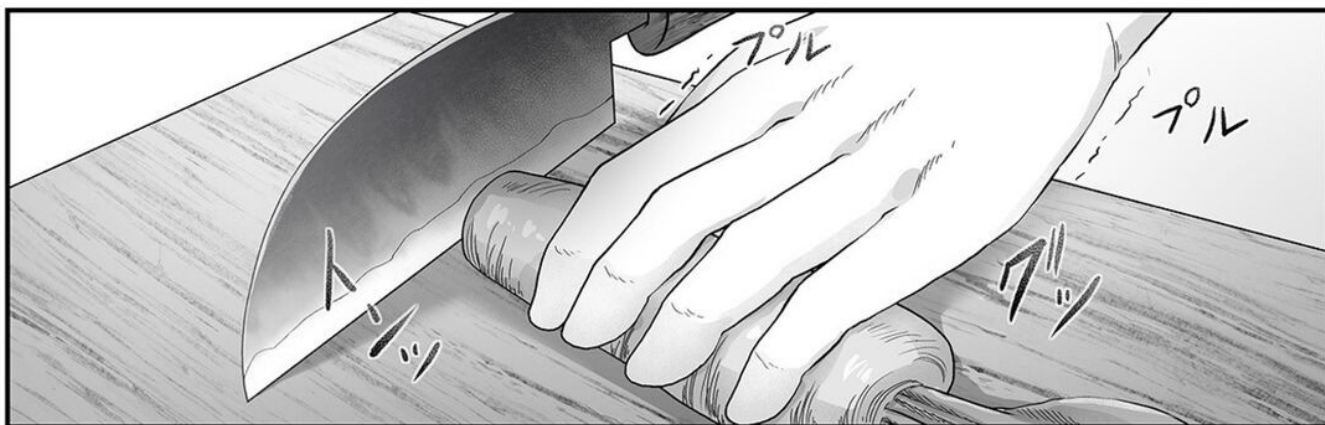
打ち捨てられた
山小屋のようだが...

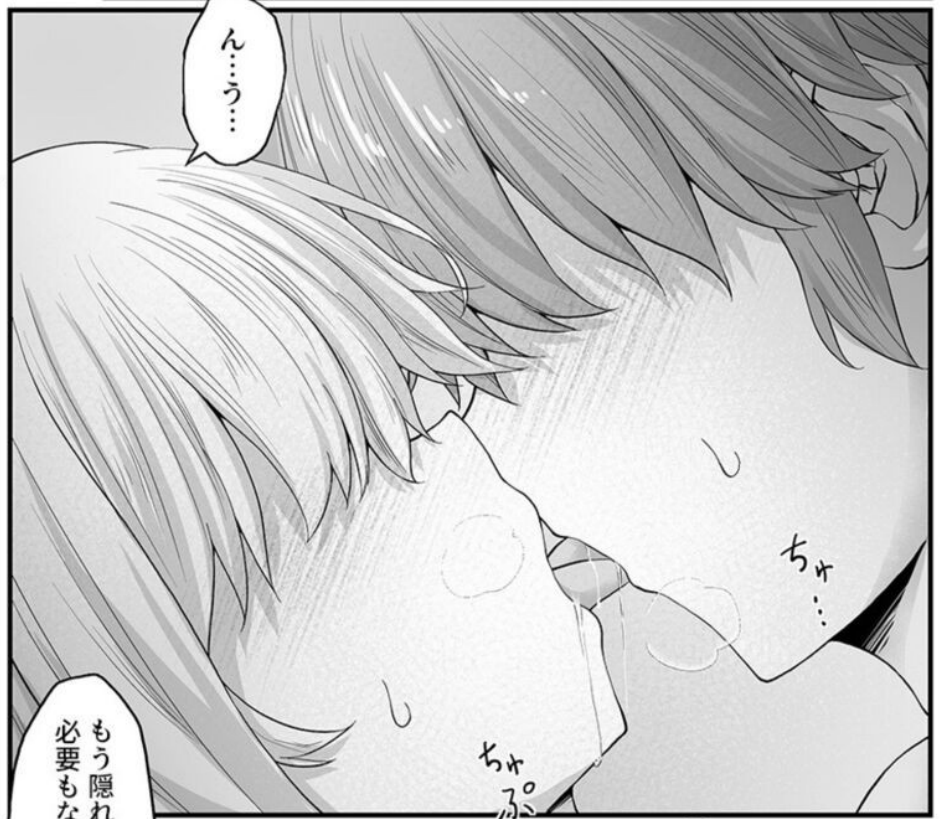
もうどこにも
行くあても無い...

まずはここで
何とか生きて行こう









もう隠れてする
必要もないから

ソフィをゆっくり愛する
ことができるな

この生活になってから
するのは初めてだな...







何を言ってるんだ
汚くなんてない

はっ♡

はっ♡

それに
もうご主人様ではなく
ハンスと呼んでくれ

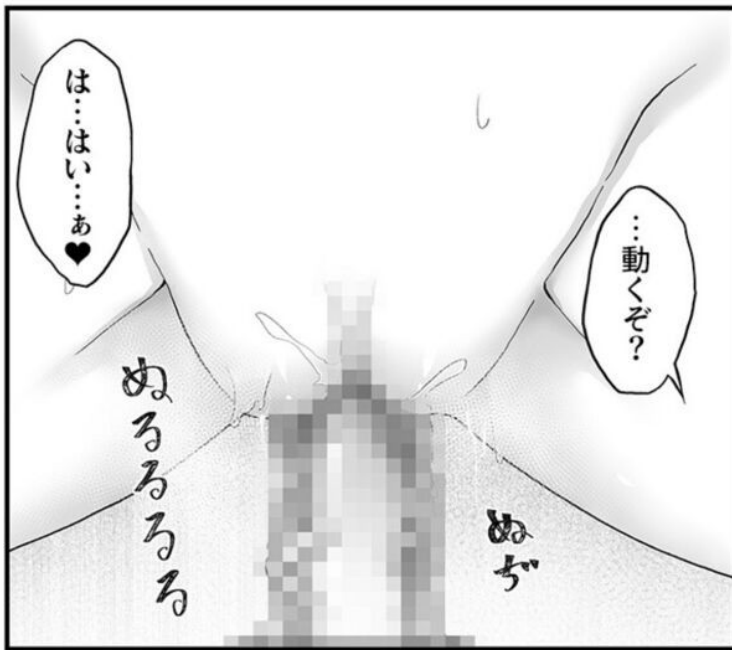


はっ♡はい……
ハ……ハンス……様

……様も慣れてきたら
外していいからな

あう……
はっ♡はい……







…どうした？
どこか痛いかな？

あ……
いえ…その…

……わ…私…あんな
ことになってから
ずっと不安で…

また…また
捨てられてひどい目に
遭うんじゃないかって…
それを思い出して
しまつて……

え…

スッ

なんだ…
そんなことを
考えていたのか



なにがあらうと
ソフィを捨てたりなんて
するものか

…はい！

ナデ

ナデ



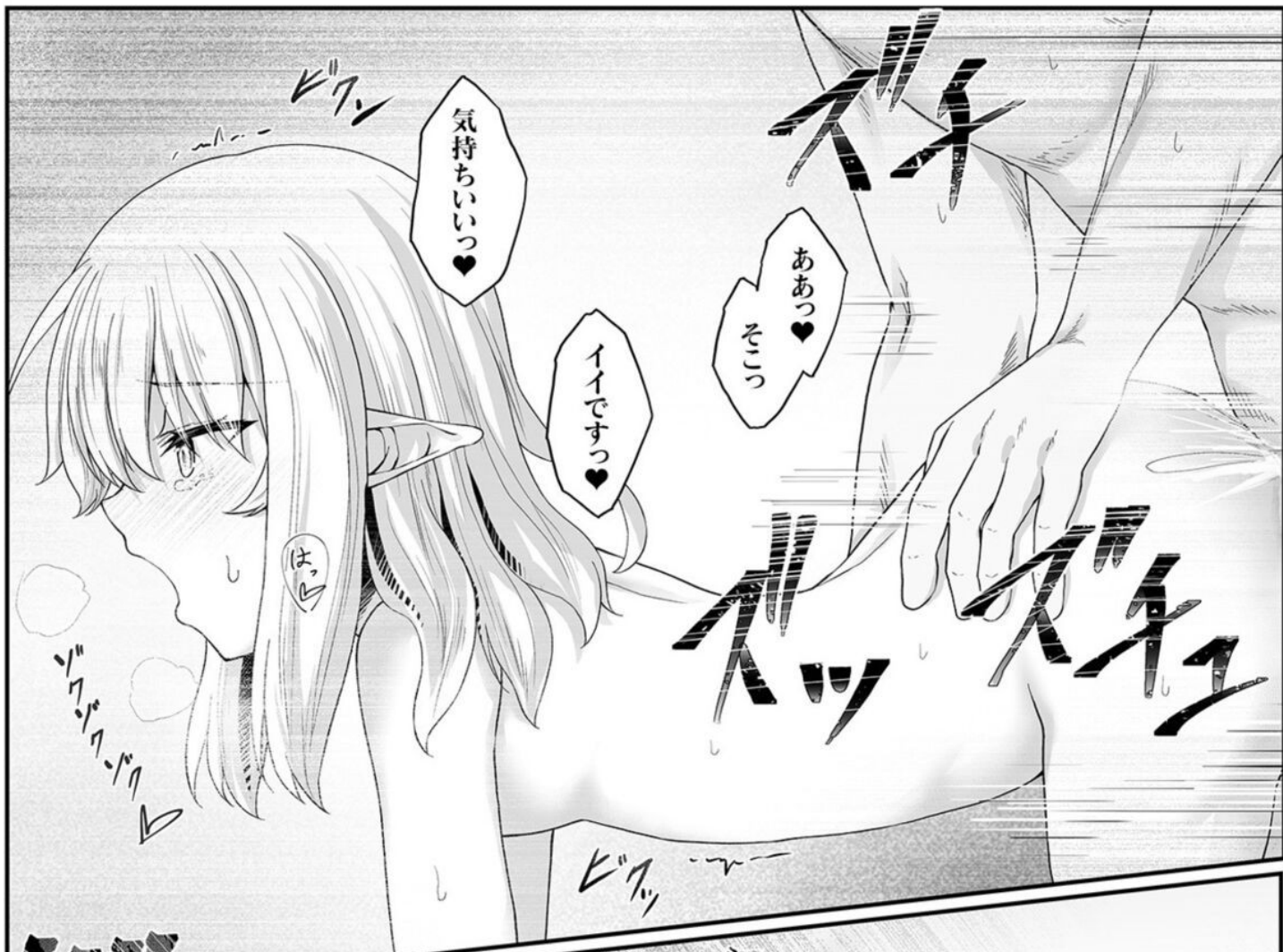
ソフィのことが
好きだから
こうして一緒に
いるんだよ

ポフッ











後日

…そろそろご飯の
用意しないとかな
……

……うっ!?

うっ…

えっ

急に吐き気が…

けほ…

なんだろう
これ…

…けほっ

はー

はー

あなたに出会えて幸せでした(2)

著者 沙々々

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。